

消化器科

● 概要

食道、胃、腸、肝臓、胆のう、膵臓といった消化器系に関する疾患の診療を行っております。

食欲不振、胸やけ、腹痛、嘔吐、下痢、下血など消化器症状のある方や、健診で肝機能異常、バリウム検査異常、便潜血陽性などを指摘された方は、内視鏡検査、超音波検査、CT、MRI 検査を行うことにより、正確な診断、治療を行っております。わかりやすい丁寧な診療と、苦痛の少ない内視鏡検査を心がけておりますので、お気軽に受診されてください。

● 専門外来

消化器病学会専門医、消化器内視鏡学会専門医を中心とした専門外来を行っております。再診の方には予約表をお渡ししておりますので、受診の際にお持ちください。

	月	火	水	木	金	土
午前	小堀陽一郎 ●砂金光太郎	新居田一貴	小堀陽一郎	新居田一貴	小堀陽一郎	小堀陽一郎 ●△日浅陽一
午後	新居田一貴	小堀陽一郎	新居田一貴	小堀陽一郎	—	—

* ●は肝臓専門の医師の診察になります。

* △は月 2 回の予約制外来になります。診察日のご案内、ご予約は、受付にお問い合わせください。

● 検査

予約制で行っておりますが、緊急性がある場合は当日でも施行します。検査前に現在服用中の内服薬や緑内障等の持病の有無を確認します。

【胃カメラ（上部消化管内視鏡検査）】

	月	火	水	木	金	土
午前	新居田一貴	小堀陽一郎	新居田一貴	小堀陽一郎	新居田一貴	—
午後	—	—	—	—	—	—

- ・カメラを口または鼻から挿入し、食道、胃、十二指腸の観察を行います。経鼻内視鏡検査は、先端部が 5~6 mm のカメラを鼻から挿入するため、検査中の苦痛が少なくなります。非常に細いため、治療には適さない場合があります、また鼻茸、鼻腔の狭い方など鼻からの挿入が困難な方もいらっしゃいますが、組織採取は可能です。口からの検査で苦しい思いをされたことのある方、これから検査を受けようと思っている方は是非、経鼻内視鏡検査をお試してください。
- ・検査費用：観察のみの場合は、1割負担で約 1,500 円、3割負担で約 4,500 円になります。組織検査をした場合は、追加で費用がかかります。
- ・検査時間：前処置の時間を除くと 5~10 分程度です。
- ・検査当日は、食事を摂らずに来院していただき、検査後 1 時間は喉の麻酔が効いているため食事ができません。

【大腸カメラ（下部消化管内視鏡検査）】

	月	火	水	木	金	土
午前	—	—	—	—	—	—
午後	小堀陽一郎	—	小堀陽一郎	新居田一貴	新居田一貴 小堀陽一郎	—

- ・下剤で大腸をきれいにした後、肛門から内視鏡を挿入し、全大腸において、ポリープ、腫瘍、炎症、その他異常がないか直接観察する検査です。大腸癌早期発見のためにも、40 歳をすぎたら、一度はすべき検査です。
- ・検査費用：観察のみの場合は、1割負担で約 2,000 円、3割負担で約 6,000 円になります。組織検査やポリープ切除等をした場合は、追加で費用がかかります。
- ・検査時間：おおよそ 20 分程度です。
- ・外来でも行える検査ですが、治療内容、患者さまの状態、希望によっては入院で検査を行います。ポリープ切除を行った場合は、3~5 日程度の入院が必要になります。

【大腸 CT (CT コロノグラフィー)】

大腸 CT 検査は内視鏡を挿入せずに CT 撮影を行い、専用のワークステーションで大腸の画像を作成し、観察・診断する検査です。肛門から 6 ミリ程度のカテーテルを 3~5 センチ挿入し、炭酸ガス注入装置で、安全にゆっくりと炭酸ガスを注入し、大腸を拡張させて撮影する、苦痛の少ない検査です。

前処置としては、前日に、専用開発された検査食を摂り、寝る前に下剤を飲んで頂きますが、大量の下剤を服用する必要はありません。

内視鏡検査では、ひだの裏など死角がある場合がありますが、大腸 CT 検査に死角はありません。ただし、平坦な腫瘍や色調の変化、小さな病変の発見は難しく、その点は内視鏡検査に劣ります。またポリープ切除や組織をとることは行えません。

朝食抜きのため、月~土曜日の午前中に予約制で行っておりますが、大腸内視鏡検査で挿入困難な例など、内視鏡検査後に引き続いて行う場合もあります。